

計量テキスト分析への入門

日時： 2016年3月5日（土） 13:00～17:00

場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟5階・センター会議室（549号室）

料金： 一般 5,000円、学生 2,500円

講師： 樋口耕一（立命館大学）

定員： 25名

■本コースの内容

たとえばアンケートの自由記述や新聞・雑誌記事、インタビュー記録のようなテキスト型（文章型）データを収集すると、数値データだけの場合よりも、いきいきとした様子を読み取りやすいことが多くあります。しかしこうしたテキスト型のデータは、いったいどのような手順で分析すればよいのでしょうか。本コースでは「計量テキスト分析」という方法を取り上げて、入門的な解説を行ないます。またフリーソフトウェア「KH Coder」を使って実際に分析を行なう手順をご体験いただきます。以下のような進め方を予定しています。

- ・計量テキスト分析の考え方と分析例の紹介
- ・長文を対象とした分析体験
- ・アンケート自由記述の分析例紹介と分析体験
- ・質疑応答

■次のような方におすすめです

- ・アンケートの自由記述をうまく分析する方法はないかとお考えの方
- ・新聞記事や雑誌記事などの内容分析（content analysis）を行ないたいとお考えの方
- ・少しずつ増えてきたインタビュー記録を、これまでとは別の視点からとらえてみたい方
- ・すでに KH Coder を利用しているけれど「この手順でよいのかな？」とお考えの方

■注意事項

- ・受講者全員に、樋口耕一著『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して』（ナカニシヤ出版・2014年）を配布し、一部をテキストとして使用します（テキスト代は受講料に含まれます）。
- ・ノートパソコン（Windows OS）をご持参の場合、講義内で分析の操作を体験できます。USB フラッシュメモリを使って分析ソフト「KH Coder」とサンプルデータをお配りいたします。Windows の場合は事前にソフト等をご準備いただく必要はありませんが、Linux や Mac の場合は、受講前に「KH Coder」のインストールと動作確認を行なっておいてください。
- ・本セミナーは分析体験の比重が大きくなっていますが、見学するだけにかまわない場合、ノートパソコンなしでご参加いただくこともできます。